

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本赤十字社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 105-8521 東京都港区芝大門1-1-3	
本票作成	部署名：日本赤十字社岡山県支部 総務課				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	医療事業（病院等の運営）、血液事業、看護師養成事業、国内災害救護、救急法等の講習普及事業等				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山赤十字病院		岡山市北区青江2-1-1	
	②	岡山赤十字玉野病院		玉野市築港5-16-25	
	③	岡山県赤十字血液センター		岡山市北区いずみ町3-36	
	④	岡山県赤十字血液センター 津山供給出張所		津山市高野本郷1272-9	
	⑤	日本赤十字社岡山県支部		岡山市北区丸の内2-7-20	
⑥	岡山県赤十字血液センター 表町出張所		岡山市北区表町1-5-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      6                      所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	9,570 t CO <sub>2</sub>	9,727 t CO <sub>2</sub>	9,474 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量
	①	岡山赤十字病院	8,021 t CO <sub>2</sub>
	②	岡山赤十字玉野病院	958 t CO <sub>2</sub>
	③	岡山県赤十字血液センター	597 t CO <sub>2</sub>
	④	岡山県赤十字血液センター 津山供給出張所	62 t CO <sub>2</sub>
	⑤	日本赤十字社岡山県支部	55 t CO <sub>2</sub>
⑥	岡山県赤十字血液センター 表町出張所	34 t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度 ～ 令和6年度 (5箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.6 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

(岡山病院) 空調熱源設備の更新及び、建築設備設計会社による設備調整を行い前年度と比べ削減することができた。

(玉野病院) 夏期は酷暑期が長かったので空調を活用する期間も長かったが、電気量は令和4年度より減少している。電気以外のエネルギーも使用量が減少傾向となり、温室効果ガス排出量は順調に削減出来た。

(血液センター3施設) 事務所含めこまめに機器の電源や電灯を消す等の取り組みを継続した。機器等の更新にあたっては、省エネ対応の製品を採用するよう心掛けた。

(支部) できる限りの節電は心がけたが、講習等行事の増加や災害対応等によりエネルギー使用量が増加した。

**【推進体制】**

(岡山病院) 施設課で日々の使用量を集計、その数値を基に建築設備設計会社が設備調整を行う。  
 (玉野病院) 蛍光灯からLEDへの更新が電気量の削減につながった。空調など施設内の温度管理を集約し、中央管理室で細かく調整した。  
 (血液センター3施設) 節電の継続、クールビズの推進継続、省エネ対応の機器の採用の検討  
 (支部) 空調設備の段階的稼働、節電の継続、機器更新時の省エネ製品導入の検討

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山赤十字病院	(令和5年度実施分) 蛍光灯のLED化、空調熱源設備の更新、建築設備設計会社による設備診断 (今後実施予定分) 蛍光灯のLED化、空調機器の運転見直し、建築設備設計会社による設備診断
岡山赤十字玉野病院	(令和5年度実施分) 令和5年の11月に給湯用ボイラーを更新し、軽油の使用量が微減した。施設内の蛍光灯をLEDに更新した。夏期・冬期の空調は中央管理室で時間帯や温度などを細かく調整し、無駄な冷暖房を抑えて節電を試みた。 (今後実施予定分) 秋頃に厨房用の空調設備を更新。塩害による劣化が激しい古い空調を一新することで性能が上がり、節電効果が期待される。
岡山県赤十字血液センター、津山供給出張所、表町出張所	(令和5年度実施分) 節電を継続するとともに、機器更新時には電気使用量の削減に努めた。 (今後実施予定分) 引き続き、機器更新についてはエネルギー使用量の削減を念頭において実施する。
日本赤十字社岡山県支部	(令和5年度実施分) 出来る限り節電を継続した。機器更新時にはより高効率な機器に買い替え、省エネを心がけた。 (今後実施予定分) 数年内に蛍光灯器具のLED化を検討する。また、引き続き機器更新時には省エネ対応の機器の取り入れを積極的に検討する。

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--